

令和4年度

海上保安協力員の活動推進事業

海上保安協力員連絡会議報告書

令和5年3月

公益財団法人海上保安協会



## 概 要

### 1. 海上保安協力員連絡会議開催状況

令和 4 年度は、年度中後以降、新型コロナウイルス感染症の新規陽性者数が減少化傾向を示したこと等から、政府の「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針の変更」及び、地方公共団体が発出する指針等を見据え、各地方本部及び支部においては、管区海上保安本部、各海上保安部署及び海上保安協力員双方から、暫く開催されていなかった対面形式での会議開催を求めるの声に応える形で、別紙「会議開催支部・地区一覧」のとおり、全国 37 の海上保安協会支部・地区で会議を開催し、各海上保安協会地方本部・支部職員の他、192 名の海上保安協力員、209 名の海上保安部署職員（管区本部職員を含む）の参加を得て、各支部における海洋環境保全・海上防犯等の現況の説明、海上保安協力員からの活動状況の報告、海上保安協力員の活動全般にかかる意見交換等を実施した。

今年度にあつては、会議開催回数に関しては、新型コロナウイルス感染拡大前（令和元年度）の約 60%までに回復、協力員の巡回等活動実績については、ほぼ同水準に達した。

### 2. 海上保安協力員の活動状況

令和 4 年度は、当協会沖縄地方本部と全国 108 の支部に配置された合計 763 名の海上保安協力員の活動回数が延べ 12,020 回を数え、これら海上保安協力員からの不審事象等にかかる通報件数は合わせて 429 件、うち検挙に結びついた通報件数は 9 件であった。

令和 4 年の海上犯罪については、上記のとおり、新型コロナウイルス感染症の感染状況の変化等による人流の増加が一定程度影響したと認められ、平成 30 年以降、減少傾向にあった海上犯罪について 5 年ぶりに増加に転じており、その中でも漁業関係法令違反については、長引く経済活動の停滞も相まって、高級食材である「伊勢エビ」や「あわび」「なまこ」を違法に採捕・所持・販売する事犯が大幅に増加する一方、長距離フェリー船内における窃盗事犯についても前年比約 3 割の増加が認められたため、海上保安協力員は、管轄の海上保安部署と連携を強化し、海洋環境保全推進活動等のほか、これら犯罪の未然防止や早期発見通報及び捜査協力に当たった。

## (1) 検挙に結びついた通報の事例

- ・ 令和4年5月、高知県沖で帰港中の漁船と遊漁中のレンタルボートが衝突し両船共に損傷を生じたが、負傷者等が無かったため当事者同士が申し合わせ無通報としていたところ、入港中の両船を巡回中の海上保安協力員が発見、異常な損傷を生じていたため管轄の海上保安署に速報するとともに関係者の監視を継続する等捜査に協力した結果、当事者が離船する直前に捜査官が臨場することに成功し、両名を業務上過失往来危険により検挙するに至った。
- ・ 令和4年8月、「伊勢エビ」密漁が横行する和歌山県の漁港内で、海上保安協力員が夜間巡回中、防波堤上から海中を照らすなど不審な行動をとる複数名の釣り客を発見、人着等を海上保安部へ速報するなど捜査に協力した結果、捜査員が臨場、同者たちを「伊勢エビ」の不法採捕（漁業法及び漁業調整規則違反）として検挙、送検するに至った。
- ・ 令和4年11月、フェリー会社員の海上保安協力員が、北海道から茨城県向け航行中の長距離フェリー船内における窃盗情報を入手。直ちに管轄の海上保安部に通報し、同海上保安部からの依頼を受け、同フェリー乗組員に、現場保存や旅客の動向を注視するなど指示し捜査に協力した結果、入港後に同海上保安部の捜査により被疑者を特定、窃盗罪として検挙、送検するに至った。

## (2) その他の通報の事例

- ・ 令和4年4月、北海道知床半島沖合において、乗客・乗員26名が乗船する観光船「KAZU1」が沈没した事故に関連し、捜索活動が長期にわたり展開されたことを受け、隣接する支部の海上保安協力員は、海浜清掃及び海上監視活動に併せ漂着物に留意していたところ、救命胴衣灯1個を拾得したため、管轄の海上保安部へ速報するとともに同物品を引き継いだ。
- ・ 令和4年9月、佐賀県有明海西部海域において、海上保安協力員が海上巡回中、多良川河口付近に浮流油を認めたため、管轄海上保安部へ速報するとともに現場海域において監視を継続した。その後、地勢を知悉している海上保安協力員と海上保安官及び地元消防等関係機関が協力して同河川を遡上し排出源の特定に当たったところ、付近のイチゴ農家を使用するボイラー用タンク配管の老朽部からA重油が漏出したものと判明した。

### 3. 海上保安協力員に期待される活動

海上保安を巡る最近の情勢等を踏まえ、安全・安心な社会の実現を目指して、海上保安協力員に特に期待される具体的活動は次のとおりであり、海上保安部署の協力・助言の下、引き続き各地域に密着した活発な活動を展開していく。

#### (1) 海上防犯関係

- ・令和5年4月から10月にかけて、広島県を始めとする日本各地（臨海部を含む）で開催される主要国首脳会議（G7広島サミット）・関係閣僚会合のほか、2025年（令和7年）開催予定の、日本国際博覧会（大阪・関西万博、大阪夢洲）など、世界各国首脳の来日予定がある状況下、臨海部や海上における特異事態の早期発見・通報等、テロの未然防止につながる活動
- ・全国各地で発生している密輸事犯や、沿岸・沖合を問わず行われる密漁事犯、さらには海洋への廃棄物等の不法投棄等、様々な犯罪の未然防止とこれらの早期発見・通報につながる活動

#### (2) 海洋環境保全関係

- ・プラスチックごみ対策が地球規模の課題となっている現状に鑑み、各地域の実情を知悉している利点を生かして、海上保安部署等との協働による海浜清掃を実施するなど、海洋環境保全につながる実践的な活動
- ・全国各地の園児、児童等を対象に、環境絵本及び環境紙芝居「うみがめマリンの大冒険」の活用や、海上保安庁イメージキャラクターを活用するなど、趣向を凝らした海洋環境教室を開催するなど、未来を担う子供たちの海洋環境保全意識の高揚につながる啓発活動

## 会議開催支部・地区一覧

(開催日順に記載)

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| 1 大阪支部          | 21 香川支部(小豆島地区) |
| 2 門司支部          | 22 佐世保支部       |
| 3 宇部支部          | 23 長崎支部        |
| 4 宇和島支部         | 24 気仙沼支部       |
| 5 鳥羽支部          | 25 比田勝支部       |
| 6 今治支部          | 26 香川支部(高松地区)  |
| 7 衣浦支部          | 27 八重山支部(石垣地区) |
| 8 下田支部          | 28 清水支部        |
| 9 福山支部          | 29 御前崎支部       |
| 10 千葉支部         | 30 門司支部(苅田地区)  |
| 11 四日市支部        | 31 三池支部        |
| 12 玉野支部         | 32 唐津支部(伊万里地区) |
| 13 水島支部         | 33 外房支部(勝浦地区)  |
| 14 三河支部         | 34 田辺支部        |
| 15 唐津支部         | 35 熊本県支部       |
| 16 横浜支部         | 36 銚子支部        |
| 17 洞海支部(若松地区)   | 37 仙崎支部        |
| 18 木更津支部        |                |
| 19 東播磨支部(加古川地区) |                |
| 20 宿毛支部         |                |

## 書面会議開催支部・地区一覧

(開催日順に記載)

- 1 苫小牧支部